



(公財) 大阪市博物館協会
大阪文化財研究所



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

「なにわの日」講演会

日時 平成30年7月29日(日) 午後2時～4時 (受付は1時30分～)

なにわのみや

今から45年前の7月28日、難波宮の発見と保存運動に人生をささげた山根徳太郎博士が亡くなりました。この功績をあらためて振り返りながら、近年研究の進展が著しい古代難波をテーマとする講演会を開催します。難波宮に関心のある方も、初めて知ったという方も、多くのご参加をお待ちしています。(今回は7月29日に実施しますので、ご注意ください)

内容

1. 後期難波宮の最新発掘成果—見えてきた宮殿周辺部の構造—
高橋 工 (大阪文化財研究所 学芸員)

2. 難波宮の築地塀をめぐる

李 陽浩 (大阪歴史博物館 学芸員)

会場

大阪歴史博物館 4階 講堂

地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口
シティバス「馬場町」バス停前

定員

250名 (当日先着順・直接会場にお越し下さい)

参加費

300円 ※キャンパスメンバーズ会員校の方は、証明証提示により本講座に無料で参加できます。

主催

大阪歴史博物館・公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所

問合せ

大阪歴史博物館

TEL: 06-6946-5728 / FAX: 06-6946-2662

ホームページ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1番32号

【予告】特集展示「発掘された古代・中世の住吉」

会期: 平成30年8月22日(水)から10月29日(月) 火曜日休館

開館時間: 午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

会場: 大阪歴史博物館 8階 特集展示室

観覧料: 常設展示観覧料でご覧になれます。

大人600円(540円)、高校生・大学生400円(360円)

※()内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下・大阪市内在住の65歳以上(要証明証提示)の方、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

主催: 大阪歴史博物館



① 後期難波宮の最新発掘成果—見えてきた宮殿周辺部の構造—

高橋 工 (大阪文化財研究所 学芸員)



後期難波宮石組み溝の発見

なにわのみや だいら ちょうどういん
難波宮の調査研究は、内裏・朝堂院と
いった宮殿中枢部の復元はほぼ固まり、
周辺部の構造の把握へと関心が移って
きています。今回は、最近の約10年
の発掘調査から、特に後期難波宮の周
辺部の構造に関する新たな調査成果を
紹介し、そこから考えられる難波宮の
特性について考えて見たいと思います。

② 難波宮の築地塀をめぐる

李 陽浩 (大阪歴史博物館 学芸員)



後期難波宮の築地塀 (大阪歴史博物館で展示中)

つじべい
土を使って築く築地塀は最も立派な遮
蔽施設であり、その大きさには等級が
設けられていたことが知られています。
ここでは難波宮で見つかった築地塀の
特徴を振り返りつつ、築地塀の東アジ
ア的な広がりについても考えてみたい
と思います。

大阪歴史博物館 10階常設展示室 「難波宮を掘る」コーナーの紹介

1950年代以降のたび重なる開発は、難波宮を破壊・消滅の危機にさらしました。しかし、「遺跡は一度こわしたら再びつくりえない」という山根徳太郎博士の強い信念と多くの市民の力により、難波宮は守られたのです。

このコーナーでは、難波宮の研究や保存運動にすべてをささげた山根徳太郎氏の生涯や、発見のきっかけとなった古代瓦など、難波宮の発掘調査・研究史にかかわる資料を展示しています。この機会にぜひご観覧ください。



山根徳太郎博士胸像